

記録：第 357 回海外邦人安全対策連絡協議会

4月11日、「第357回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は、①新型コロナ感染状況、②ラマダン月（断食月）の安全対策、③邦人被害にかかわる報告など。

1. 冒頭

（大使館総括公使）

今回欠席

2. 医療関連状況について

（大使館医務官）

新型コロナの感染状況については、発表された統計数字を見ると3月下旬以降やや新規感染者数が増加傾向にある。ジャカルタで1日200人前後、検査陽性率は1月2月に比べるとやや上昇しているというデータが出ている。まだ油断はできないと言える。今後状況を注意して見ていく必要がある。

先月話題となったデング熱ワクチンについては、現在5月頃の出荷に向けて準備しているという情報を得た。先月日系医療機関に尋ねたところではワクチンの入荷はまだ未定であるとのことであった。ワクチンに関して新しい情報があればこの場で共有させていただく。

3. 治安ならびに邦人に関わる最近の事件・事故報告

（大使館政治部書記官）

新年度に入り改めてテロについて注意喚起させてほしい。残念ながらインドネシアでは毎年テロ事件が発生しておりまして直近でも昨年12月に発生している。現在断食月でテロのリスクが高まるため、引き続きテロへの警戒を怠らないよう、具体的には警察などの治安関連施設や宗教関連施設を訪れる際に十分注意してほしい。危険な状況を察知したらすぐにその場を離れるなど安全確保をお願いしたい。

先般3月29日に大使がインドネシア国家警察の副長官と会談した。その中で在留邦人や日系企業の皆様が引き続き安全に安心して活動ができるよう警察の支援を要請したことをご参考までに共有させていただく。

（大使館警備班書記官）

数件邦人被害に係るご報告をしたい。

まず1点目はジャカルタのアパートメントホテルにおける盗難被害。アパートメント

ホテルの住人が腕時計や装飾品が入った貴重品ボックスをリビングに置いていたところ、その貴重品ボックスから高価な腕時計が盗まれたという被害。犯人は清掃スタッフであった。警察との協力により犯人が捕まりまた被害品も被害者の方の手元に帰ってきた。被害品が戻ることは非常に珍しいケースである。日本と異なりこちらでは他人が家の中に入ることが多い住環境。貴重品等の管理は必ずセキュリティボックスに入れていただくなど、貴重品管理を厳重にしていきたい。

つづく2件目は、SNSを通じた詐欺被害。InstagramやFacebookといったSNSを通じて知り合ったSNS上の知人に言葉巧みにお金を騙し取られたという被害である。日本でも同様の詐欺被害は発生しているが、やはり上手い儲け話などありえないということを前提においていただき、投資や資産運用にかかわる話に気をつけてほしい。

また、このラマダンが終わればレバラン休暇に入り、国内外にご旅行に出かける方も多くなると思うが、旅行先でも常に注意を怠らず防犯対策を都って安全にお過ごしいただきたい。

最後に、今月いっぱい任期が終わり日本へ帰国することとなった。今回の海安協が最後となる。大変お世話になった。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

盗難被害2件について報告する。1件目は先ほど警備班書記官からご紹介いただいた事例である。もう1件は、食事をしている最中にカバンを持ち去られたという事案が発生した。日頃注意をするよう指導しているが、やはりラマダン時期になるとリスクが高くなることを認識させられた。改めて注意喚起に努めている。

(企業からの報告)

新型コロナウイルス感染、安全、衛生等で特に報告事項はなし。

(企業からの報告)

3月は久しぶりに新型コロナウイルス感染者2人ほど発生したが、いずれも軽症で特に影響はなかった。事件事故は特になし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はない。5月8日から日本入国の取り扱いが変わると聞いたがその内容をご紹介いただきたい。

(大使館領事部長から回答)

4月3日に外務省の広域情報というメールで案内されたもので、5月8日から新型コロナウイルスに関する水際対策が変更となるという内容である。新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが変わることが変更の理由。

現在必要とされている3回以上のワクチン接種証明 ないしは72時間以内の陰性証明が5月8日からは必要なくなる。日本入国に際しては証明書等を提示する必要はなくなる。一方で体調が悪い方には、感染症ゲノムサーベイランスという検査が行われる予定。日本到着にあたって熱があるとか咳があると自己申告した方については検査を受けていただくことになるのではないかと。検査の具体的な内容は外務省から連絡を待ってホームページまたはメールでお知らせしたい。

(企業からの報告)

コロナ感染、入国面でのトラブルもなし。安全面でも特に問題ない。

東部工業団地に関連してご案内したい。来週から各企業の長期休みが始まるかと思うが、交通規制が4月17日より始まる予定で、高速道路でも一方通行等予定されている。遠方に行く場合、ジャカルタに戻りづらい状況になることもあるため、ご注意ください。

(企業からの報告)

新型コロナ関係、出入国等々含め特段問題は発生していない。

(企業からの報告)

新型コロナについては日本からの出張者が1名感染。帰国してから発覚したがインドネシアで感染したとみられる。ほかにナショナルスタッフ1名が感染した。

盗難事件について報告する。チカランデルタマス周辺で朝7時ごろにサイクリングしていたところ、身につけていたウエストポーチを後ろから来た2人乗りのバイクに奪われた。おそらく鋭利な刃物か何かでウエストポーチを切られたとみられる。ポーチの中には現金と銀行のデビットカード及びスマートフォンが入っていた。

警察には盗難被害届ではなく紛失届を出した。被害届を出すと警察は金を要求してくるため紛失届とした。ただ紛失届も提出時に10万ルピア取られたということであった。ご報告させていただく。

(企業からの報告)

新型コロナについては従業員に罹患者は出ていない。出入国、安全面について報告すべき事案はない。

(企業からの報告)

新型コロナ感染、安全面情報で共有すべき事案はない。

(企業からの報告)

特段の報告事項はない。

(企業からの報告)

入国関連について報告したい。就労ビザについては例年と比べてかなりスピードを上げて取得することができている状況だが、入国時に1か月有効の間違った入国スタン

プを押されるトラブルが続いている。意図してか間違っただけなのか不明だが、間違っただけでスタンプを押されるため、空港ですぐ ITAS が取得できないというケースが 100% の確率で発生して苦慮している。

(企業からの報告)

4 月久しぶりに新型コロナ感染者 1 名が発生したが、軽症ですでに回復した。事件事故については該当事案なし。新型コロナ 感染時の隔離について現状どのようなインドネシア政府のプロトコルが適用されるのかご教示いただきたい。

(大使館医務官からの回答)

直近の状況は把握していないが、今年 2 月に確認した時点では、2022 年 1 月ごろの通達である隔離期間 10 日間はまだ適用されているとのことであった。

(企業からの報告)

新型コロナについては今年に入ってから感染者は確認されていない。安全に関しては現地スタッフにかかわる事件として、携帯電話の盗難被害であったり、夜中の退社時に 信号待ちの際にバイクを横から押し倒して奪われそうになったという被害が報告されている。

(JJC)

特段の報告事項はなし。

(JICA)

関係者の家族にコロナ感染したケースが発生した。それ以外に 事件事故の報告はない。日本人関係者にはラマダンとレバランの注意喚起をしているところ。

(国際交流基金)

新型コロナの陽性者は先月、今月と 2 名発生したがいずれも回復済み。その他の報告事項はない。

(ジャカルタ日本人学校)

27 名の教員が新規着任予定ですでに 25 名が ジャカルタ 入り。学校は本日始業式で小 1、中 1 を除く全児童が通学を開始した。明日は入学式、明後日は幼稚部の入園式と始業式を挙行予定。新型コロナ感染については小 6 の 1 名が感染したという報告を受けている。

5. その他

(大使館領事部長)

大使館ホームページの新型コロナ関連の内容を一新すべく今準備をしている。日本への入国の条件であるとか、インドネシアの入国とその後の行動制限などにフォーカスすべく準備している。今週中にはホームページを全面的に改定できる見込みなのでお時間のある時にご覧いただきたい。

次回海安協は 2023 年 5 月 9 日（火）で開催予定。開催方式は検討中。